経済学部　地域創造学科　カリキュラムツリー(2024年度以降入学生)

●学部共通科目　●学科共通科目　●コース科目　●ゼミナール科目

教育課程編成・実施の方針〔CP〕

地域創造学科は、大学の教育課程編成・実施の方針（CP）に掲げる目標を達成するために、総合共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、科目を配置する。
教育内容、教育方法、教育評価については、以下のとおり方針を定める。

【教育内容】
1.☒ャリア教育科目を含めた総合共通科目、専門教育科目、自由選択科目を配置し、地域政策コース、観光まちづくりコースの2コースで構成し、地域の発展に寄与できる専門知識と実践力を養う科目を配置する。
2.☒門教育科目は、「学部共通科目」「学科共通科目」「コース科目」「ゼミナール科目」で区分し、経済・経営分野の基礎的内容に加え、地域政策・観光分野の基礎的内容から応用・発展的内容までの知識と技能を体系的に修得できるよう科目を配置する。
3.☒らに、ゼミナール科目は、2年次より少人数クラスで展開し、4年次に卒業研究に取り組む科目として配置する。
これらの科目を通して、国内外において活かせる「課題探求能力」、「課題解決能力」、「調査・分析能力」、「コミュニケーション能力」、「実践力」を育む。

【教育方法】
1.☒体的な学びの力を高めるためにアクティブ・ラーニングを取り入れた教育方法を実施する。
2.☒域と協働し、地域社会の振興と発展に寄与できる実践力を身に付けられるよう指導する。
3.☒習においては個別の習熟度を見極め、きめ細やかな個別指導を実施する。

【教育評価】
1.☒授業は、シラバスに基づいた到達目標に対応した評価方法を導入し、厳格な成績評価によって単位を付与する。
2.☒年間の学修成果は、卒業研究（必修）によって行い、総合的に評価する。

区分		1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期
総合共通科目		教養教育科目「文化・芸術領域」「歴史・社会領域」「人間・環境領域」							
		言語・異文化理解科目「日本語」「英語」「中国語」「韓国語」等							
		情報教育科目「データサイエンス入門」「情報処理演習Ⅰ～Ⅲ」							
		健康教育科目							
		キャリア教育科目「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」「インターンシップ（企業研修）」「スキルアップ講座A～S（ITパスポート、TOEIC、公務員養成）」							
		キャリア教育科目「キャリ基礎演習Ⅰ～Ⅲ」							
専門教育科目	学部共通科目	●経済学概論	●ミクロ経済学入門						
			●マクロ経済学入門						
		●経営学概論	●統計学入門						
		●簿記入門							
	学科共通科目	●観光地理（国内）	●地域のまちづくり入門	●人口学	●地域経済論	●経営戦略論	●経営組織論		
		●観光地理（海外）	●観光学入門		●地域データ分析	●マーケティング論	●ソーシャルビジネス論		
		●旅行業務取扱管理者演習Ⅰ	●地域協働論		●統計学				
		●旅行業務取扱管理者演習Ⅱ	●民法		●金融論				
		●旅行業務取扱管理者演習Ⅲ	●簿記3級演習Ⅰ	●地域創造実習Ⅰ	●地域創造実習Ⅱ	●地域創造実習Ⅲ	●地域創造実習Ⅳ		
		●旅行業務取扱管理者演習Ⅳ	●簿記3級演習Ⅱ	●簿記2級演習Ⅰ	●簿記2級演習Ⅱ				
				●宅建演習Ⅰ	●FP3級演習Ⅰ				
				●宅建演習Ⅱ	●FP3級演習Ⅱ				
				●宅建演習Ⅲ					
				●宅建演習Ⅳ					
	コース科目 地域政策コース			●地域のまちづくり	●地域の安全と生活	●経済政策	●公共経済学		
				●地域政策論	●財政学	●地方自治体の財政	●社会保障論		
				●非営利組織論		●行政法	●地域の健康福祉		
	コース科目 観光まちづくりコース			●観光経済学	●観光政策論	●流通管理論			
					●宿泊産業論	●消費者行動論	●地域の観光資源		
				●観光史	●交通産業論	●ブランド論			
						●観光研修(集中)			
							●サービスとホスピタリティ		
	ゼミナール科目			●ゼミナールⅠ	●ゼミナールⅡ	●ゼミナールⅢ	●ゼミナールⅣ	●キャリア発展ゼミナール	
自由選択科目		K-CIP関連科目、他学部・他学科等の履修科目							

卒業認定・学位授与の方針〔DP〕

地域創造学科は、総合的な教養、経済・経営分野を基盤に地域政策・観光分野での多様な専門知識を身に付け、地域社会の振興と発展に寄与できる実践力を備えた人材を養成することを目指す。この基本理念をもとに、以下を満たした学生に卒業を認定し、学位を授与する。

【知識・技能】
学士（経済学）として相応しい教養を身に付け、経済学・経営学および地域政策・観光に関する学問の基礎を理解し、専門知識と技能を身に付けている。

【思考力・判断力・表現力】
実社会で必要となる教養、および専門分野の知識・技能を用いて、職業人として適切な企画・計画力、的確な判断力を有し、それらを実践できる力を身に付けている。また、知識基盤社会における多様な課題や解決策を見いだし、自ら課題を解決する力、論理的に表現できる力を身に付けている。

【主体性・協働性・倫理性】
地域社会の振興と発展に寄与できる担い手として、高い倫理性をもって自らを律し、主体的に物事を考え、自己の判断と責任を持って行動する力を身に付けている。また、地域や社会の一員として、自ら進んで他者と協働し、社会貢献できる力を身に付けている。